

所 管	まちづくり企画部交通政策課		
担 当	島崎	問い合わせ	0573-26-6808

報 道 機 関 各位

第6回S L復元検討委員会の開催と市民説明会の結果 について

市の魅力を最大限に発揮させ、恵那にしかない高付加価値な観光や産業の振興により地域活性化に取り組むため、明知鉄道でのS Lの復元運行が可能かの調査検討を行う、S L復元検討委員会を開催します。また、市内3カ所で開催した市民説明会の結果をまとめましたのでお知らせします。

記

1. S L復元検討委員会

- (1) 日時 令和6年11月21日（木曜日）午前10時から11時30分
- (2) 場所 恵那市役所西庁舎3階 災害対策室
- (3) 内容 ①S L復元を通じた地域活性化計画について
 ②S L復元の可否の判断について
- (4) その他 会議終了後、報道機関向けの質疑応答の時間を設けています。

2. S L復元検討に関する市民説明会

(1) 開催日程

①明智会場

日時 令和6年10月15日（火） 午後7時30分から8時40分
場所 明智文化センター大ホール
参加者 115人

②岩村会場

日時 令和6年10月17日（木） 午後7時30分から8時20分
場所 岩村コミュニティセンター大会議室
参加者 40人



市公式キャラクター
『エーナ』



③恵那会場

日時 令和6年10月18日（金） 午後7時30分から8時30分

場所 恵那市市民会館

参加者 40人

(2) 内容

SL復元を通じた地域づくりに向けた取り組み状況（別紙資料）

(3) 意見、質問など

市民からは、移住増への期待や、復元に向けて応援したいといった賛成意見のほか、市内全域での取組を希望する意見があった。また、赤字の場合の補填方法や、SDGsの取組との関連性、運行年数についての質問があった。

①SL復元の目的

リニア中央新幹線の開業がもたらす大きなインパクトを契機に、市の魅力を最大限に発揮させる取り組みの一つとして、明知鉄道においてSLの復元運行を通じて市内の多様な団体が連携し、地域の魅力を発信及び恵那市にしかない高付加価値な観光や産業の振興により、地域の活性化に結びつけることを目的とします



②検討組織

明知鉄道の線路を活用し、SL運行が可能かの調査検討を行う組織として市内関係者等で構成する「SL復元検討委員会」を令和5年11月に設立し、現在までに5回検討委員会を開催しました。合わせて、専門分野別に議論を行う3つの部会「SL復元検討部会、特産品観光部会、環境整備部会」をそれぞれ開催し検討しています。

③リニア開業とSL復元運行に期待される効果

恵那市の地域の歴史と未来をつなぎ、夢を乗せて走るSL

蒸気と共に歩む未来 ～SL復元プロジェクト～

変わる恵那の暮らし

- ・ 交流人口の拡大
- ・ 恵那市の魅力度の向上と地域への愛着・郷土愛の向上
- ・ 転入者や若年層の移住定住の増
- ・ 通勤圏内の拡大
- ・ SLが走る町としての誇り
- ・ SLを生かした地域の活性化とまちづくりの発展

観光産業の発展

- ・ 全国や世界からの観光客の増
- ・ 新たな観光資源による地域経済の活性化
- ・ 地元の企業活動の活性化
- ・ 新たな雇用の確保
- ・ ビジネスの可能性の広がり
- ・ 恵那ブランドの強化

SL復元運行で地域を活性化

④経済波及効果

経済波及効果を生み出すためには、地域の皆様の力と創意工夫が必須です！

SLの運行をきっかけに多くの観光客の方が恵那市に訪れ、市内観光商業事業者が付加価値の高いサービスを提供することによって、

経済波及効果：11億5,600万円／年

※乗客等1人当たり約2万1千円を恵那市で観光消費

市内関係者が連携した高付加価値な恵那市独自の商品を提供



SL復元運行の効果を市内13地域へ

SL乗車で訪れた人を地域へ呼び込む

首都圏・中部圏家族やインバウンド、友達、おひとり様などの「ターゲット別」に恵那を周遊できるモデルコースを作成して適格に誘客を行い、経済波及効果（観光消費額）の増を図ります。

⑤運営組織(案)

1. 体制の考え方

SLを新たな観光資源として開発し、SL観光事業を通じて地域の活性化を図るため、観光・経済団体、市民、市がー丸となって事業を推進する組織を設立します。

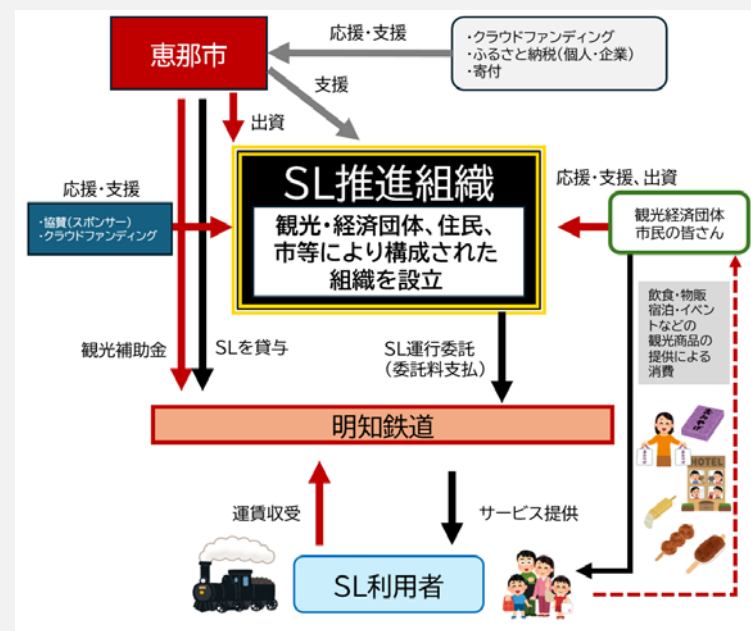


2. 役割

種別	実施者	実施内容
運営主体	SL推進組織	経営責任・SLを活用した地域の活性化の推進 (誘客企画・プロモーション など)
運行受託者	明知鉄道	SLの運行・管理
応援・支援 盛り上げ活性化	市・市民 観光経済団体 等	応援・支援、出資、地域のおもてなし、 イベント開催、商品開発、旅行商品 など



3. 体制図



⑥SL運行の想定 費用と収入

SLについて教えて
欲しいんだなあ



恵那市公式キャラクター「エーナ」



Q1. SLの運行はどんな想定をしているの？

A1. 土日祝日の年間150日
恵那～岩村～明智駅を3往復

Q3. 運賃はいくらを想定してるの？

A3. 明智～恵那間ですと、1,690円
(運賃690円+指定席1,000円)

Q2. SLってどの車両を想定してるの？

A2. 現在明智駅で乗車体験を行っているC12 244
恵那中央図書館にあるC12 74の2両

Q4. どんな車両編成で運行を想定してるの？

A4. SLと現在明知鉄道で運行している
車両(気動車)を改良して運行する3両編成

Q5. SLを復元する費用はいくらで、収入(財源)はどうやって確保するの？

A5. **SLの復元費用等(イニシャルコスト) 10億7,500万円**(車両関係、人材育成、試験運行、保線関係、付帯設備)
収入は、補助金(国・県・市)、ふるさと納税(企業・個人)、クラウドファンディング、協賛などを想定しています。

Q6. SLの維持管理費はいくらで、収入(財源)はどうやって確保するの？

A6. **SLの維持管理費(1年間のランニングコスト) 1億4,600万円/年**が必要となります。
収入は、運賃収入、補助金(国・県・市)、ふるさと納税(企業・個人)、クラウドファンディング、協賛などを想定しています。

※SL2両の全般検査が4・6年目に発生するため
6年で割り戻して年換算で表記しています。

⑦今後の協議

第6回目のSL復元検討委員会(11月21日)においてSL復元の可否を判断を予定しています。

※本資料はSL復元に向けた検討資料であり、SL復元運行が決定したものではありません

詳しい内容は市ウェブサイト
SL復元検討委員会ページで
ご確認いただけます。

